

商工観光部の方針書

部名	商工観光部
部長名	佐藤 和志

1. 部の使命(ありたい姿)

地域経済が活性化しているとともに、おもてなしの心が地域に根差している	
担当政策	政策4: 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
担当施策	4-2: 活気ある商業の振興 4-3: 活気ある工業の振興 4-4: 観光・物産資源の発掘と発信 4-5: 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍及びエネルギー高、原材料高で停滞した地域経済克復 ・人口減少と地域経済縮小への対応 ・労働生産性向上と付加価値増大への支援 ・多様な働く場創出と人材確保への支援 ・横手の魅力発信と観光振興 ・市有温泉施設の運営

3. 今年度の『スローガン』

<p>もっとつながろう！ ひと・ちいき・しごと</p>

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の事業継続と成長を支援する ・労働力維持確保のための取り組みを推進する ・産業と働く場の多様性を作り出す ・観光素材を更に磨き上げ、横手の魅力を発信する ・優れた横手産品の販路拡大を支援する ・2025大阪・関西万博に向け横手市の認知度向上を図り、海外誘客を促進していく ・市有温泉施設運営方針を確定し、具体的取り組みに着手する
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市内事業者の成長支援により地域経済が活性化されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市商工業振興計画の次期計画を策定し、市内産業の育成・支援、若年者の地元定着を図ります。 ・新たなBizサポートよこてを核に起業家育成に注力するとともに、駅東口の賑わい創出を目指します。 ・生産性向上への設備投資や産学共同研究等経費に支援することで市内企業の成長を促します。 ・若年者地元定着のため、事業所の魅力発信を支援し雇用のマッチングを促進します。 ・工業用地造成に向けた取り組みを進め、企業誘致による新たな雇用の場の創出を目指します。
(2)	実現したい成果	優れた観光素材と横手産品のブラッシュアップが形成され、広く情報発信されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを的確に把握し、効果的な誘客プロモーションを展開します。 ・官民連携のもと、稼げる観光地域づくりを進め、増田まんが美術館を中核とした全市回遊滞在型観光を推進します。 ・2025大阪・関西万博の開催応援イベント実施を通じ、海外誘客に向けた横手市観光のPRを図ります。 ・継続した販売促進活動により既存販路の定着を図りつつ、新たな販路開拓を進めることで、横手産品の販路拡大を支援します。 ・「リトルよこてin仙台」の開催など、仙台圏をターゲットとした魅力発信をより一層進めます。
(3)	実現したい成果	今後の市有温泉施設運営の方向づけをし、具体的取り組みに着手している
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の在り方について地域住民との意見交換を実施し、最終的な方向性を確定させます。 ・譲渡公募、指定管理公募手続き等具体的な取り組みに着手します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)市内事業者の成長支援による地域経済活性化に取り組んだ
 - 1)エネルギー価格高騰による事業者の経営支援のため「エネルギー高騰対策支援事業」を展開し経営持続化に取り組んだ(申請受付は10月末日まで 予算2.6億円)
 - 2)“Bizサポートよこて”を核として起業・創業支援を図り、伴走型経営個別支援に取り組んだ
 - ・個室スペースに4者入居(6室中5室を使用) コワーキングスペース利用会員登録数 188人
 - ・起業ワンストップ相談窓口利用者数(延べ) 51人
 - 3)企業における生産性向上と人材育成を支援することで企業成長を図った
 - ・中小企業設備導入支援事業 7件
 - ・中小企業人材育成支援事業 5件
 - 4)工業用地造成を進めた
 - ・用地取得に向け地権者との交渉を進め合意に達した
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへ取り組んだ
 - 1)観光素材の磨き上げと、全市回遊滞在型観光の推進を図った
 - ・産学官連携協定締結の台湾大同大学より学生7人を招き、就業体験及び横手の情報発信をしていただいた
 - ・観光推進機構、秋田ふるさと村、宿泊事業者と連携して「台北国際観光旅行展」に出展し、冬季誘客のプロモーションを図った(台湾-秋田空港のチャーター便就航が決定し、旅行展来場者への鮮烈なPRができた)
 - ・モニターツアーを実施したコト体験の商品化を図り、観光推進機構による予約サイト販売の開始に結びつけた
 - ・全市回遊に向け、デジタルサイネージ等による観光情報発信を実施した(8月末現在145件)
 - 2)横手産品の販路拡大支援に取り組んだ
 - ・4年度実施済みの「外食産業マッチング支援事業」に基づく購入飲食店を訪問し、評価の聞き取りと継続使用の打診及び横手産品の売込みを図った
 - 3)横手ファンの獲得・拡大と関係性の強化を図った
 - ・首都圏・仙台圏で横手市出身者が経営する飲食店を訪問し、横手応援拠店事業への協力を依頼した(今年度は首都圏4店舗から賛同をいただき、“横手応援拠店”として登録)
- (3)市有温泉施設の今後の方向付けに向け取り組んだ
 - 1)各地域における住民説明会を経て6月定例会に方向性を示したが、その後に「上畑温泉」の水源及び源泉の不具合発生によって協議検討の必要性が生じたため、取組み着手を一旦見送ることとした

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援、地域経済活性化への取り組み
 - 1)課題：エネルギーや原材料費高騰が市内事業者に及ぼす影響把握と適切な対応
方針：対象事業所への聞き取り調査等による情報収集や状況把握に努め、本事業の検証をすすめる
 - 2)課題：企業の競争力強化を目指した産学共同研究と人材育成への支援
方針：事業誘導につながる支援策検討とともに、現行補助事業を広くPRし有効活用を推進する
 - 3)課題：工業用地造成に関する地権者の理解
方針：造成がスムーズに進むよう地権者への説明を尽くす。契約及び所有権移転手続きを今年中に完了させる
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへの取り組み
 - 1-1)課題：関西圏からの誘客事業に注目を集め、“横手市への誘客”“大阪万博催事参加”等の目的達成
方針：“横手の雪まつり in 大阪城”実施で関西圏からの誘客を図る
 - 1-2)課題：冬期間の雪まつり前後の閑散期解消のための観光誘客
方針：国庫補助金を活用し、雪まつり期間前の誘客促進につながるコンテンツ造成とPRを行う
台湾-秋田空港チャーター便運航に絡めた台湾向けの誘致活動
 - 2)課題：市内事業者の販路開拓・拡大の支援
方針：首都圏や仙台圏での小売店舗への商品提案及び販促活動を実施し、情報やニーズを収集するほか、海外市場における販路開拓・拡大を推進する
 - 3)課題：さらなる横手ファンの獲得と、関係性の維持・強化
方針：“横手応援拠店”の仕組みを強化するとともに、首都圏のほか仙台圏における展開拡大も図る
- (3)市有温泉施設の方向付けに沿った実行の取り組み
 - 1)課題：最終的な方向性を示す必要がある
方針：議会との協議を重ねながら最終的な方向性を確定させ、具体的取組みに着手する

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)市内事業者の事業継続と成長支援、地域経済活性化への取り組み

結果と成果: エネルギー価格高騰対策支援事業により経営持続化を図った(922件、62, 888千円)
企業の競争力強化につながる事業者支援と、起業・創業支援のための環境整備と活用促進を図った
誘致認定2社、新規立地企業1社(操業時雇用47人を予定)

課題: プレミアム付商品券事業により地域消費の喚起を図る
空き店舗解消と賑わい創出
産学共同研究の促進と人財育成の取り組み強化
工業用地の拡充

(2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへの取り組み

結果と成果: 少雪に苦慮しつつも子どもたちの接待を復活させた完全形態で「横手の雪まつり」を開催できた
大阪城公園、大阪国際空港など、関西圏での出前かまくら開催により横手の魅力を発信した
雪まつり期間を拡大した誘客促進に向け準備を進めた
よこてfun通信の新規読者を650人とし応援人口増加につなげた(そのうち仙台圏は120人)

新たな市場開拓に向けマレーシアの市場調査を実施した
横手応援拠点事業により首都圏・仙台圏で8店舗を新たに拠点登録した
課題: 観光客の満足度向上を目指した「質」重視の誘客と商品開発
横手産品の現状に適した販路拡大支援、新たな輸出相手国の開拓
横手応援拠点と連携した魅力発信の推進

(3)市有温泉施設の方向付けに沿った実行の取り組み

結果と成果: 運営方針の確定(さくら荘・鶴ヶ池荘・ゆっふるは指定管理、大森健康温泉・ゆとりおん大雄は民間譲渡)

課題: 運営方針に基づく具体的取り組みに着手